

平成 14 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 化学物質の地域リスク評価手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<p data-bbox="230 359 819 391">予備的検討を十分やっておく必要がある。</p> <p data-bbox="197 504 936 584">市民に情報として提供するということと研究の精度とに若干ギャップを感じる。</p> <p data-bbox="185 651 943 831">目標がやや分散しているように思われる。河川の生態系とDEP由来リスクがどう関わるのか。全体フレームワーク(センターにおけるリスクへの取組)を明確にしておいた方がよい。</p> <p data-bbox="185 895 936 1023">適用すべき測定の方法論もよく考えること。モデルの検証をしようと思うと、かなりデータ数が必要だと思う。</p> <p data-bbox="185 1042 936 1121">環境省や他の自治体の研究などとも情報交換して進めるべき。</p> <p data-bbox="230 1141 629 1173">研究の継続が必要と考える。</p>	<p data-bbox="1010 359 2085 486">平成 14 年度中に受託する環境省委託事業を通して、シミュレーションモデルの取り扱い及び環境リスクの考え方等について情報収集と予備的検討を実施する。</p> <p data-bbox="1010 505 2085 633">中期計画に位置づけられた重点課題「環境総合情報センター機能の確立」を踏まえ、市民への公表を前提としたわかりやすいリスク情報の推定を目標に検討を行う。</p> <p data-bbox="999 652 2085 876">大気と水域という異なる二つのフィールドを扱うことになるが、シミュレーションを基礎とした環境リスク評価という方法論は両者に共通している。当センターでは、このような方法論を取り入れた研究を初めて行うため、今回は幅広いフィールドを対象として情報を収集して検討を行い、今後につなげる。</p> <p data-bbox="999 895 2063 975">使用するシミュレーションモデルの選定及び任期付研究員の決定の後、改めて詳細を検討する。</p> <p data-bbox="1043 1042 1794 1074">環境省及び国立環境研究所等と適宜情報交換を行う。</p> <p data-bbox="999 1141 2085 1316">予定している 2 年間で最終的な結果を導き出すことはできないと考えている。QSAR(構造活性相関)によるリスク推定やリスク評価値の精度向上等については、次期研究の課題となると考えられるので、基本的に本課題の研究は継続して実施する予定である。</p>